

To Be a **Good Company**

2021年度 第3四半期決算概要 及び 通期業績予想の見直し (上方修正)

2022年2月14日



東京海上ホールディングス

業績ハイライト

● Key Messages	3
● Executive Summary	
– トップライン	4
– 修正純利益3Q実績の評価	5
● 通期業績予想の上方修正	6
● 自然災害の発生状況	7

2021年度 第3四半期決算概要

● 国内損保事業 (TMNF)	
– 決算概要	9
– 正味収入保険料	10
– 発生保険金	11
– コンバインド・レシオ	12
– 資産運用等損益	13
● 国内生保事業 (AL)	
– 決算概要	14
● 海外保険事業	
– 正味収入保険料	15
– 事業別利益	17
– 決算概要 (PHLY)	19
– 決算概要 (Delphi)	20
– 決算概要 (TMHCC)	21

◆資料内にて使用している事業会社の略称は以下の通りです

▶TMNF	: 東京海上日動火災保険
▶AL	: 東京海上日動あんしん生命保険
▶PHLY	: Philadelphia
▶TMHCC	: Tokio Marine HCC
▶TMK	: Tokio Marine Kiln

参考資料

– 連結決算 (修正純利益)	23
– 連結決算 (連結純利益)	24
– 各種指標の定義	26
– 修正純利益の組替表	28
– 修正純資産・修正ROE	29
– 事業別利益の組替表	30

(Blank Page)

好調な3Q実績 (11月予想対比の 進捗率 96.5%)

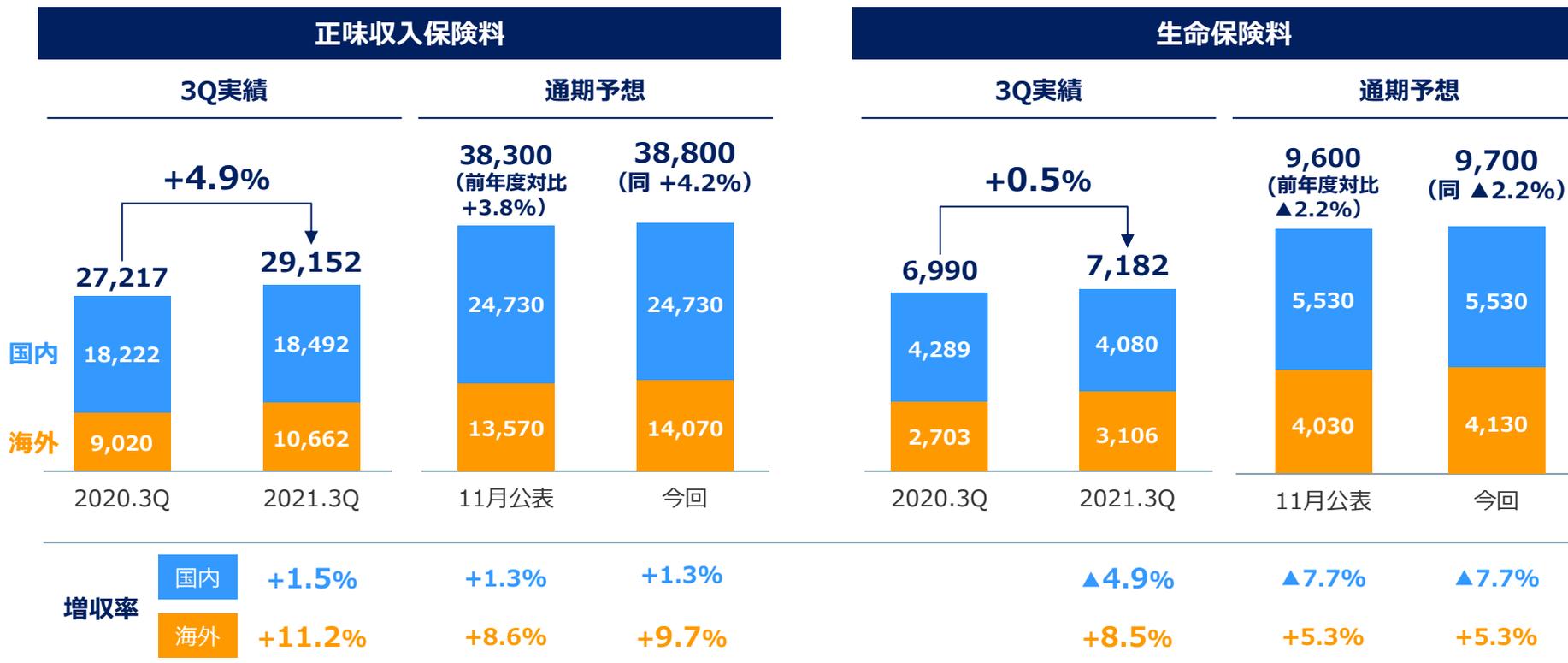
- 修正純利益の3Q実績は4,729億円と、通期予想（11月公表。以下、11月予想）に対して、96.5%の進捗率
- 国内は好調なトップラインに加え、発生保険金の下振れ（自然災害・大口事故の減少やコロナ影響）もあり、11月予想を上回って進捗。海外も自然災害等を保守的に見込んでいた11月予想を上回って進捗するなど、グループ全体として好調

通期予想の 上方修正 (修正純利益 +700億円)

- 3Q実績および足元の好調な基調を踏まえ、修正純利益の通期予想を、11月予想対比+700億円上方修正し、5,600億円とする
- 修正通期予想5,600億円から、一過性の自然災害や北米拠点のキャピタルゲインの影響+400億円、コロナによる損害率低下等の影響を控除した実力ベースでも、修正純利益は5,000億円を突破する見込み

- トップラインの3Q実績は、国内外・生損保共に、11月予想に対して順調に推移し、基調は良好
- 海外の基調を踏まえ、正味収入保険料の通期予想を前年度対比 +4.2%の増収（11月予想は+3.8%）に引き上げる

※増収率は全て除く為替ベース、単位：億円



- 国内は前年のコロナ影響の反動や火災の料率改定効果等により増収し、3Qの基調は好調
- 海外はレートアップや引受拡大、コロナ影響の反動を主因に増収し、3Qの基調は良好
- 通期では前年度対比+4.2%に引き上げ

- 国内は販売好調の一方、事業保険の解約増加により、3Qは減収しているものの、年初および11月予想の想定通り
- 海外はDelphi・TMHCCでの引受拡大やレートアップを主因に、3Qの基調は良好
- 通期の増収率は11月予想を据え置き（為替込みでは+100億円の上方修正）

【グループ全体（修正純利益）】4,729億円（11月予想対比の進捗率：96.5%）

- 国内は好調なトップラインに加え、発生保険金の下振れ（自然災害・大口事故の減少やコロナ影響）もあり、11月予想を上回って進捗。海外も自然災害等を保守的に見込んでいた11月予想を上回って進捗するなど、グループ全体として好調

各事業の事業別利益

【TMNF】1,874億円

（11月予想対比の進捗率：106.5%、過去5年平均進捗率*1：42.7%*2）

- 好調なトップラインと発生保険金の下振れ（自然災害・大口事故の減少やコロナ影響）により、11月予想を上回って進捗

【AL】325億円（11月予想対比の進捗率：67.8%）

- 4Qに計上される、Delphiへの運用委託に係る分配金を考慮すると、11月予想に対して順調に進捗

【海外保険】1,866億円（11月予想対比の進捗率：92.4%）

- 自然災害等を保守的に見込んでいた11月予想を上回って進捗（収益向上の取り組みも順調に進捗し、保険引受・資産運用共に好調）

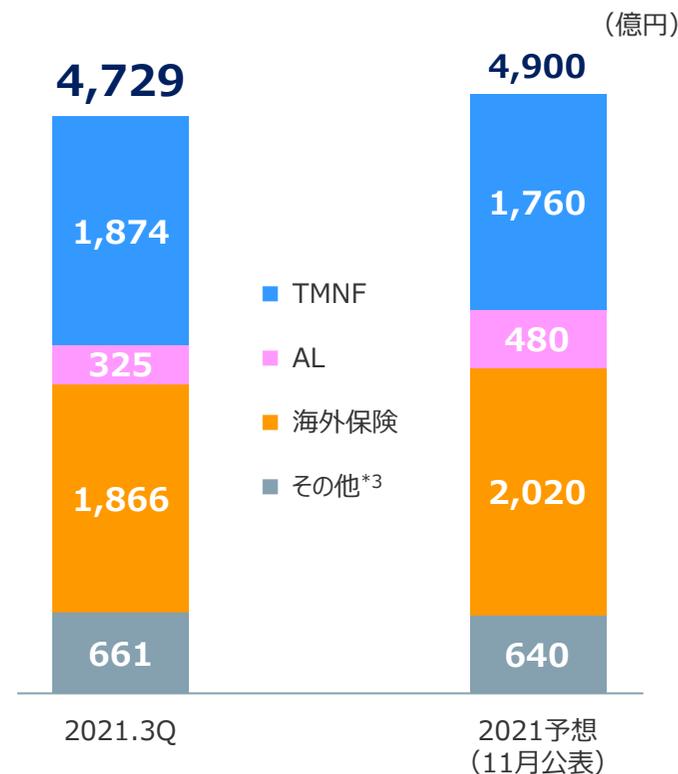
*1：2016年度～2020年度における、11月予想に対する3Q実績の進捗率。以降も同様

*2：大規模自然災害の影響を受けた2018・2019年度を除くと、81.4%

*3：TMNF以外の国内損保や金融その他事業、政策株式売却損益など。以降も同様

11月予想対比
進捗率 **96.5%**

（過去5年平均の進捗率*1：72.9%）

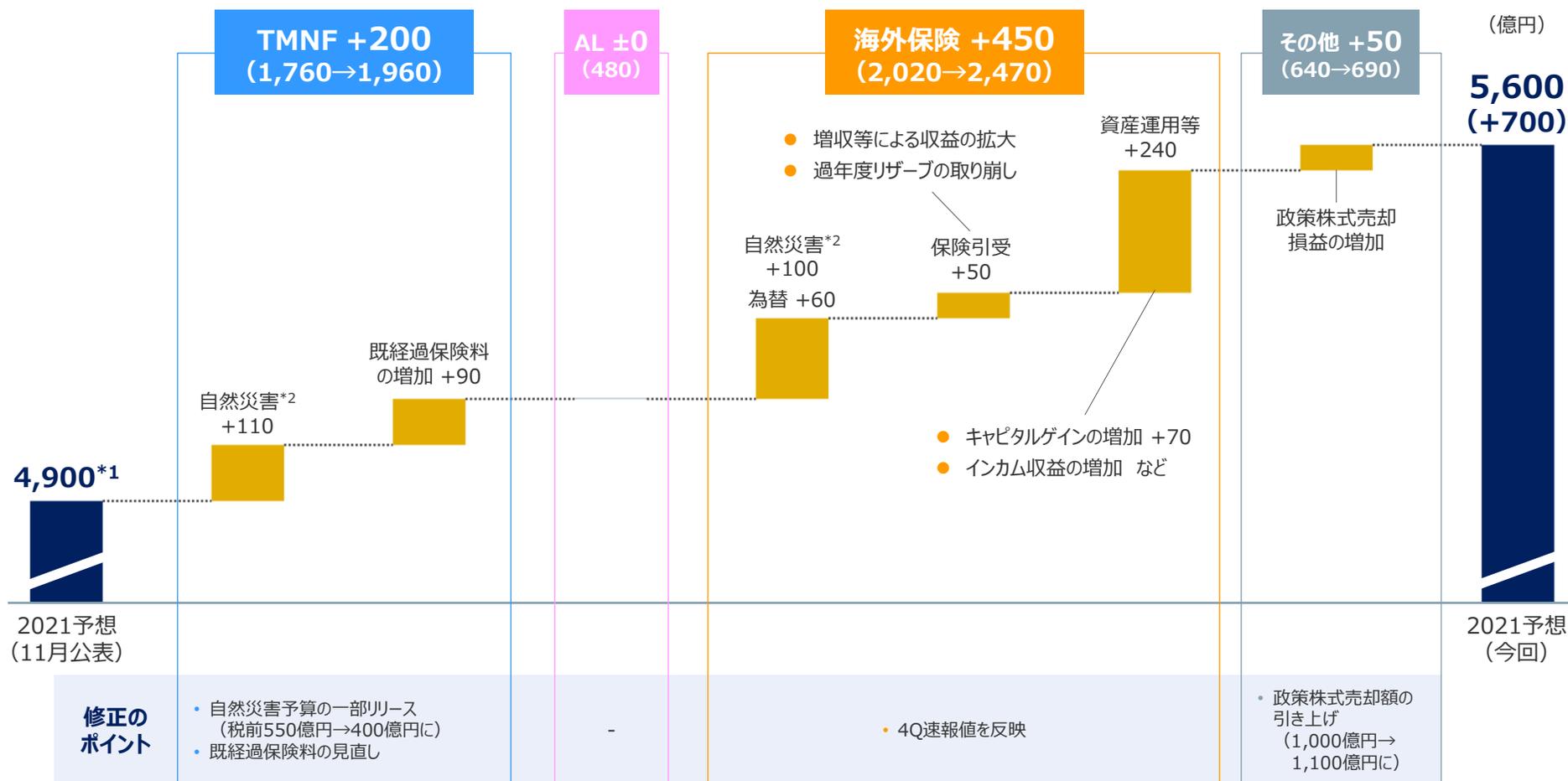


通期業績予想の上方修正

【グループ全体（修正純利益）】5,600億円（+700億円上方修正）

- 3Q実績および足元の好調な基調を踏まえ、修正純利益の通期予想を+700億円上方修正し、5,600億円とする
- 修正通期予想5,600億円から、一過性の自然災害や北米拠点のキャピタルゲインの影響+400億円、コロナによる損害率低下等の影響を控除した実力ベースでも、修正純利益は5,000億円を突破する見込み

※修正純利益の内訳は各事業の事業別利益



*1：一過性の要因として、国内自然災害 +108、海外自然災害 ▲110、北米拠点のキャピタルゲイン +120の他、コロナによる損害率低下等の影響がある
 *2：自然災害予算はP.7参照

自然災害の発生状況

- 自然災害に係る発生保険金の3Q実績は、前年同期比▲315億円減少の738億円（税引前）
- 通期では国内外共に予算を引き下げ、11月予想対比▲260億円の970億円を見込む

自然災害に係る発生保険金（事業別利益ベース、億円）

	2020年度 3Q実績	2021年度 3Q実績	前年増減*2	2021年度通期予想		増減*2 (②-①)
				①11月公表	②今回	
税引前						
国内損保*1	786	268	▲518	580	430	▲150
海外保険	267	470	+202	650	540	▲110
合計	1,054	738	▲315	1,230	970	▲260
税引後*3						
国内損保*1	567	193	▲373	418	308	▲110
海外保険	212	373	+160	510	430	▲80*4
合計	779	566	▲212	928	738	▲190

3Qの主な自然災害(一定規模以上の自然災害を記載)

【国内*1】	元受発生保険金*5	【海外】	正味発生保険金*5
令和3年8月秋雨前線による大雨	130億円	ハリケーンIda	170億円
令和3年台風9号	48億円	テキサス州寒波	168億円

*1：TMNF、日新火災、イーデザイン損保の合計
*2：+は収益にマイナス、▲は収益にプラス
*3：税引後数値は概算
*4：為替（円安）の影響を控除すると、▲100
*5：税引前

2021年度 第3四半期決算概要

〈ご参考〉

	為替レート (ドル/円)	
	20年度	21年度
12月末レート (国内損保・生保)	103.50円 (20年3月末対比 5.33円高)	115.02円 (21年3月末対比 4.31円安)
9月末レート (海外)	105.80円 (19年12月末対比 3.76円高)	111.92円 (20年12月末対比 8.42円安)

国内損保事業①：決算概要 (TMNF)

- 3Q事業別利益は、好調なトップラインと、発生保険金の下振れ（自然災害・大口事故の減少やコロナ影響）により、11月予想を上回って進捗（3Q進捗率：21年度106.5% vs 過去5年平均42.7%*）
- 前年同期比では、自然災害の減少等による保険引受利益の増益や、外貨建てファンドからの配当金の増加等による資産運用等損益の増益により、全体として+438億円の増益

* 大規模な自然災害の影響を受けた2018年度・2019年度を除くと、81.4%

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減	2021年度 通期予想 (11月公表)	
				進捗率	
保険引受利益	▲38	1,483	1,521	930	159.5%
（保険引受利益：除く①～⑤）	1,747	2,112	365	2,067	102.2%
正味収入保険料（民保）	15,048	15,455	407	20,666	
既経過保険料（民保）*1	14,849	15,374	524	20,385	
発生保険金（民保）*2	▲9,100	▲8,664	435	▲12,120	
①自然災害	▲736	▲251	485	▲550	
②外貨建支払備金積増/積減	52	▲71	▲124	▲20	
上記以外	▲8,416	▲8,342	74	▲11,550	
事業費（民保）	▲4,668	▲4,912	▲244	▲6,756	
③異常危険準備金積増/積減	▲479	▲604	▲125	▲749	
自動車	▲265	▲268	▲3	▲256	
火災	▲110	▲215	▲104	▲337	
④自然災害責任準備金積増/積減	▲89	20	109	22	
⑤初年度収支残負担*3	▲531	278	810	159	
資産運用等損益	1,346	1,692	346	1,948	86.9%
経常利益	1,343	3,212	1,868	2,910	110.4%
特別損益	▲159	▲25	133	▲45	55.6%
当期純利益	965	2,464	1,499	2,220	111.0%
事業別利益への組替 (P.30)	470	▲590	▲1,061	▲463	127.4%
事業別利益	1,435	1,874	438	1,760	106.5%

*1 自然災害責任準備金積増を除く

*2 損害調査費を含む

*3 普通責任準備金積増額の内、未経過保険料の積増額を控除したもの

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

- 自然災害や各種準備金等の影響を控除した保険引受利益：
 - ➡ 好調なトップラインやコロナ影響（事故の減少）、大口事故の減少により、11月予想を上回って進捗。なお、4Qにコロナ影響の縮小と平年並みの大口事故の発生を見込んでいる。
(3Q進捗率：21年度102.2% vs 過去5年平均77.7%)
- 事業別利益：
 - ➡ 上記の他、自然災害発生保険金の下振れにより、11月予想を上回って進捗
(3Q進捗率：21年度106.5% vs 過去5年平均42.7%)

【ご参考】準備金の前年同期比

- 自然災害責任準備金積増/積減：
 - ➡ 前年同期の積増の反動や再保険スキームの見直しに伴う取崩の発生
- 初年度収支残負担：
 - ➡ 主に自動車におけるコロナ影響の反動による取崩の増加

国内損保事業②：正味収入保険料（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- 3Q実績は、コロナ反動や火災の料率改定効果等により+2.7%と、基調は好調（11月予想は+2.2%）
- 前年同期比では、同様の理由により、増収

（単位：億円）

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年		2021年度 通期予想 (11月公表)	前年 増減率
			増減	増減率		
火災	2,591	2,667	75	2.9%	3,531	▲0.0%
海上	444	535	91	20.5%	677	10.3%
傷害	1,249	1,298	49	3.9%	1,726	7.0%
自動車	8,255	8,356	100	1.2%	11,161	1.0%
自賠償	1,797	1,681	▲115	▲6.4%	2,247	▲5.8%
その他新種	2,511	2,599	88	3.5%	3,573	4.7%
合計	16,850	17,140	289	1.7%	22,920	1.4%
内：民保合計	15,048	15,455	407	2.7%	20,666	2.2%

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

- 火災：
 - 21年1月の料率改定効果や企業火災の大口契約等により、11月予想に対して順調に推移
- 海上：
 - コロナ影響（物流減等）の反動や営業施策の実行により、11月予想に対して順調に推移
- 傷害：
 - 期末に向けてコロナ影響（外出自粛等）の縮小を想定しており、11月予想に対して順調に推移
- 自動車：
 - 台数は横ばいも、ノンフリート単価の上昇（車両保険の付帯率上昇や21年4月の商品改定効果等で+1.3%）により、11月予想に対して順調に推移
- 自賠償：
 - 21年4月の料率引下げ（▲6.7%）の影響はあるものの、期末に向けた対策強化により、11月予想に対して順調に推移
- その他新種
 - コロナ影響が残るものの、4Qに大口契約を見込む等、11月予想に対して順調に推移

国内損保事業③：発生保険金（TMNF）

- 自然災害・大口事故の減少やコロナ影響により、11月予想を下回って推移
- 前年同期比では、コロナ反動はあるものの、自然災害の減少等により、減少

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績		2021年度 第3四半期 実績		前年 増減	前年 増減率	2021年度 通期予想 (11月公表)	
		自然 災害		自然 災害				前年 増減率
火災	1,885	641	1,294	218	▲591	▲31.4%	2,060	▲23.1%
海上	299	11	372	1	72	24.3%	433	14.4%
傷害	627	-	679	-	52	8.3%	951	10.9%
自動車	4,478	51	4,768	18	290	6.5%	6,511	8.8%
その他 新種	1,809	31	1,550	12	▲259	▲14.3%	2,164	▲1.0%
合計	9,100	736	8,664	251	▲435	▲4.8%	12,120	0.3%

注) 上表には損害調査費を含む

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

- 火災：
 - ➡ 自然災害・大口事故の減少により、11月予想を下回って推移
- 海上：
 - ➡ コロナ影響の反動や小規模事故の増加により、11月予想を若干上回って推移
- 傷害：
 - ➡ コロナ影響の反動により、前年同期比では増加しているものの、11月予想に対して想定内で推移
- 自動車：
 - ➡ 期末に向けてコロナ影響（事故の減少）の縮小を想定しており、11月予想に対して想定内で推移
- その他新種：
 - ➡ 海外での発生保険金の減少等により、11月予想を下回って推移

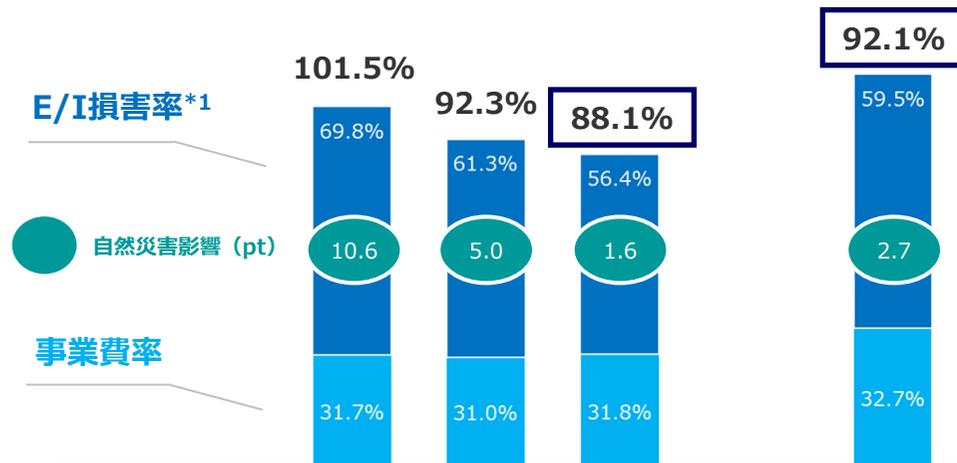
国内損保事業④：コンバインド・レシオ（TMNF）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- 事業費率は順調、E/I損害率、コンバインド・レシオは11月予想を下回るペースで推移
- 前年同期比では、事業費率は上昇、E/I損害率、コンバインド・レシオは自然災害の減少等により低下

コンバインド・レシオ（民保E/Iベース）



【通期予想（11月公表）に対する進捗】

- E/I損害率：
 - ➡ 自然災害発生保険金の下振れ等により、11月予想を下回るペースで推移
- 事業費率：
 - ➡ 社費率（11.0%）は、4Qに成長投資等を見込んでおり、11月予想に対して順調に推移
 - ➡ 手数料率（20.8%）は、11月予想に対して順調に推移
- コンバインド・レシオ：
 - ➡ 上記要因により、11月予想を下回るペースで推移

(単位：億円)

	2019年度 第3四半期 実績	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減	2021年度 通期予想 (11月公表)
正味収入保険料	14,762	15,048	15,455	407	20,666
既経過保険料*2	14,405	14,849	15,374	524	20,385
発生保険金*1	10,051	9,100	8,664	▲435	12,120
事業費	4,684	4,668	4,912	244	6,756
内：社費	1,688	1,552	1,696	143	2,444
内：代理店手数料	2,995	3,115	3,215	100	4,311

*1 損害調査費を含む
*2 自然災害責任準備金積増を除く

E/I損害率*1

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減	2021年度 通期予想 (11月公表)
火災	80.7%	50.0%	▲ 30.7pt	60.7%
海上	61.9%	69.0%	7.1pt	64.8%
傷害	50.9%	55.5%	4.6pt	56.6%
自動車	54.5%	57.1%	2.6pt	58.4%
その他新種	70.0%	58.0%	▲ 11.9pt	62.1%
民保合計	61.3%	56.4%	▲ 4.9pt	59.5%

国内損保事業⑤：資産運用等損益（TMNF）

● 資産運用等損益は、政策株式売却額の上振れを主因に、11月予想を上回って進捗

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年増減	2021年度 通期予想 (11月公表)	進捗率
資産運用等損益	1,346	1,692	346	1,948	86.9%
資産運用損益	1,597	1,976	379	2,313	85.4%
ネット利息及び配当金収入	1,010	1,285	274	1,542	83.3%
利息及び配当金収入	1,281	1,525	243	1,856	
内国株式配当金	523	590	66	601	
外国株式配当金	383	453	69	621	
内国債券インカム	133	124	▲ 9	162	
外国債券インカム	19	17	▲ 1	22	
内国その他インカム*1	3	3	0	4	
外国その他インカム*2	129	248	118	334	
積立保険料等運用益振替	▲ 270	▲ 239	31	▲ 313	
売却損益等計（キャピタル）	586	691	104	770	89.7%
有価証券売却損益	717	756	39	837	
有価証券評価損	▲ 63	▲ 47	16	▲ 37	
内国株式評価損	▲ 18	▲ 15	2	▲ 14	
外国証券評価損	▲ 45	▲ 25	20	▲ 16	
金融派生商品損益	▲ 80	▲ 125	▲ 44	▲ 46	
為替差損益	7	99	92	8	
その他	6	7	1	8	
その他経常収益・費用等	▲ 250	▲ 284	▲ 33	▲ 365	

* 1 内国証券のうち内国株式及び内国債券以外からのインカム

* 2 外国証券のうち外国株式及び外国債券以外からのインカム

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

－ ネット利息及び配当金収入（インカム）

➔ 政策株式の配当時期の関係で、3Qの進捗率は高いが、通期では11月予想に対してオンペース

－ 売却損益等計（キャピタル）

➔ 政策株式売却額の上振れを主因に、11月予想を上回って進捗

なお、3Qの政策株式売却額は910億円（前年同期比横ばい）、売却益は730億円（同+20億円）

国内生保事業：決算概要（AL）

- 新契約年換算保険料は、11月予想に対して順調に進捗
- 事業別利益も、Delphiからの運用収益の一部が4Qに計上される点を考慮すると、11月予想に対して順調に進捗

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	2021年度 通期予想 (11月公表)	前年 増減率
	新契約年換算保険料	300	373	73	24.5%	490

	2021年 3月末実績	2021年 12月末実績	増減	増減率	2022年 3月末予想 (11月公表)	前年 増減率
	保有契約年換算保険料	8,199	8,124	▲75	▲0.9%	7,990

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	2021年度 通期予想 (11月公表)	進捗率
	経常収益	7,302	7,055	▲247	▲3.4%	9,250
保険料等収入	6,054	5,982	▲71	▲1.2%	8,090	
当期純利益	319	306	▲12	▲4.0%	470	65.2%
経常利益	422	372	▲49	▲11.8%	560	
(-) キャピタル損益	▲35	▲31	3	-	▲30	
(-) 臨時損益	▲9	▲4	4	-	▲0	
基礎利益	466	408	▲58	▲12.5%	590	
事業別利益	350	325	▲24	▲7.1%	480	67.8%

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

－ 新契約年換算保険料

- ➔ 回払変額保険や新商品（介護年金保険など）の販売好調により、11月予想に対して順調に進捗
（3Q増収率24.5%には、前年のコロナ影響からの回復を含むが、11月予想にも織り込み済）

－ 保有契約年換算保険料

- ➔ 事業保険の解約等による減少が、新契約による増加を上回り、全体では減収（11月予想に織り込み済）

－ 事業別利益

- ➔ 4Qに計上される、Delphiへの運用委託に係る分配金を考慮すると、11月予想に対して順調に進捗
（前年同期比では、保有契約の利益貢献や為替ヘッジコストの減少といった増益要因を、販売好調に伴う初年度負担の増加等が打ち消し、▲24億円の減益）

海外保険事業①：正味収入保険料

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- 3Q実績は、11月予想通り順調に進捗（TMHCCなど北米拠点を中心に、基調は良好）
- 前年同期比では、各拠点における成長施策の実行（レートアップや引受拡大等）等により、+9.9%の増収

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績			(参考) 前年増減率 (除く為替*5)	2021年度 通期予想 (11月公表)	前年増減率 (除く為替*5)	
			適用為替レート (ドル/円)	20年9月末				21年9月末
	105.8円	111.9円				111.9円		
先進国	北米*1	8,622	10,332	1,710	19.8%	13.2%	13,110	10.6%
	PHLY	2,648	2,983	335	12.7%	6.5%	3,820	5.0%
	Delphi	2,218	2,517	298	13.5%	7.3%	3,180	5.2%
	TMHCC	3,249	4,245	996	30.7%	23.5%	5,270	17.8%
	欧州*2	988	988	▲0	▲0.0%	▲9.2%	1,350	▲4.2%
新興国	中南米	736	929	192	26.2%	15.6%	1,210	11.0%
	アジア・オセアニア*3	1,284	1,406	122	9.5%	4.5%	1,890	5.1%
	中東・アフリカ	227	259	31	13.9%	▲2.0%	340	▲2.8%
損保計*4	11,860	13,916	2,056	17.3%	10.1%	17,900	8.5%	
生保	673	740	67	9.9%	5.6%	970	1.3%	
合計	12,534	14,657	2,123	16.9%	9.9%	18,870	8.1%	

(ご参考) Pureレシプロカルの保険料 (GWPベース)

Pure	1,065	1,307	241	22.7%	16.0%
------	-------	-------	-----	-------	-------

海外保険事業の数値は、従来からIR資料などで開示している基準と合わせ、東京海上日動の在外支店や持分法適用会社、非連結会社なども合算した海外保険事業トータルの数値となっている (P.17も同様)

【3Q実績(1-9月)のポイント】

– 北米（主要3社の詳細はP.19～21参照）

PHLY： 好調なレートアップを実現（3Q実績：+11%）していることに加え、更新率や新規契約も良好であり、基調は順調

Delphi： 収益性向上を意識しつつ、新規契約獲得・レートアップを着実に進めており、生損保共に基調は順調

TMHCC： 良好なレート環境を背景に、高いレートアップを実現（3Q実績：+14%（A&H・Surety・Creditを除く））D&Oや米国外ビジネスを中心とした増収を遂げており、基調は好調

[ご参考]3Qの北米企業分野マーケットのレートアップ率は+約7%^{*6}

– 欧州

TMK： レートアップの一方で、収益の更なる安定化に向けて引受見直しや出再等を引き続き実行しており、想定通り推移

– 中南米

マーケットの高い成長を確実に捉え、順調に拡大

– アジア・オセアニア

コロナ影響の反動もあり、順調に拡大

*1 「北米」に記載の数値には、TMHCCの欧州事業を含む。TMKの北米事業は含まない

*2 「欧州」に記載の数値には、TMKの北米事業を含む。TMHCCの欧州事業は含まない

*3 「アジア・オセアニア」に記載の数値には、先進アジア・オセアニアを含む

*4 「損保計」に記載の数値には、生損保兼営の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含む

*5 円換算時の為替の影響を控除

（上記*1-5の注については、P.17も同様）

*6 （出典） Willis Towers Watson

海外保険事業②：事業別利益

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



- 3Q実績は、自然災害などを保守的に見込んでいた11月予想を上回って進捗
(収益向上に向けた取り組みも各社順調に進捗しており、保険引受・資産運用共に好調)
- 前年同期比では、上記に加えて、コロナ影響の反動(+約880億円。うち保険引受+約580億円、
資産運用+約300億円)等により、+1,253億円の増益

(単位：億円)

		2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替)	2021年度 通期予想 (11月公表)	進捗率 (除く為替)
適用為替レート (ドル/円)		20年9月末 105.8円	21年9月末 111.9円				21年9月末 111.9円	
先進国	北米	691	1,543	852	123.3%	110.6%	1,760	87.7%
	PHLY	215	334	119	55.3%	46.8%	410	81.7%
	Delphi	276	724	447	161.8%	147.5%	770	94.1%
	TMHCC	166	397	231	139.3%	126.2%	500	79.5%
	欧州	▲137	106	243	-	-	90	118.0%
新興国	中南米	82	54	▲28	▲33.8%	▲39.4%	70	78.5%
	アジア・オセアニア	90	217	127	141.3%	139.5%	190	114.6%
	中東・アフリカ	11	▲1	▲13	▲112.2%	▲111.4%	0	-
損保計		669	1,864	1,195	178.5%	170.4%	2,050	91.0%
生保		▲11	37	49	-	-	10	376.8%
Pure		56	77	20	36.7%	29.2%	110	70.1%
合計		613	1,866	1,253	204.2%	193.4%	2,020	92.4%

【3Q実績(1-9月)のポイント】

- 北米（主要3社の詳細はP.19～21参照）
 - PHLY： 自然災害の影響があった一方、これまで取り組んできた収益改善策やレートアップ効果に加え、過年度リザーブの取り崩しもあり、コンバインド・レシオは95.5%と良好
 - Delphi： 生保でコロナの影響を受けたものの、想定範囲内であり、順調。収益の柱である資産運用は、強みの運用力を活かして高い利回りを維持
 - TMHCC： コンバインド・レシオを88.7%と良好な水準に保ちつつ、着実に増収を実現しており、好調
- 欧州
 - TMK： 収益安定化に向けてこれまで取り組んできたポートフォリオの見直しやレートアップ等の効果により、主力であるロイズ事業のコンバインド・レシオは90%を下回る水準となり、順調
- 中南米
 - コロナ反動による自動車のロス悪化が見られるが、レートアップや引受見直し等の取り組みを着実に進めると共に、資産運用収益も拡大しており、順調
- アジア・オセアニア
 - コロナに伴う自動車事故頻度の低下等の影響もあり、順調
- 生保
 - 金利上昇に伴う責任準備金負担の減少もあり、順調
- Pure
 - 年初にテキサス寒波の影響があった（※）ものの、収益の柱であるフィービジネスは順調に進捗
（※）子会社における再保険の引受（4月以降ランオフ）

■ 主要勘定科目の増減

（単位：億円）

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
適用為替レート (ドル/円)	20年9月末 105.8円	21年9月末 111.9円			
正味収入保険料	2,648	2,983	335	12.7%	6.5%
既経過保険料	2,592	2,798	206	8.0%	2.1%
発生保険金	1,762	1,819	57	3.2%	▲2.4%
自然災害	134	244	109	81.4%	71.5%
手数料・社費	766	854	87	11.4%	5.3%
保険引受利益	63	125	61	97.2%	86.5%
資産運用損益	203	279	75	36.9%	29.4%
事業別利益	215	334	119	55.3%	46.8%
損害率*1	68.0%	65.0%	▲3.0pt	-	-
事業費率*1	29.6%	30.5%	0.9pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	97.6%	95.5%	▲2.0pt	-	-

*1 分母は既経過保険料

*2 円換算時の為替の影響を控除

<手数料・社費、保険引受利益、事業費率、コンバインド・レシオについて>

2021年度より、管理会計上の手数料・社費の計算方法を変更。これに伴い、2020年度の手数料・社費、保険引受利益、事業費率、コンバインド・レシオの実績も、新たな計算方法で再算出した。なお、本変更に伴うボトムラインの変更はない。

海外保険事業④：決算概要 (Delphi)

■ 主要勘定科目の増減

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*3)
	20年9月末	21年9月末			
適用為替レート (ドル/円)	105.8円	111.9円			
正味収入保険料	2,218	2,517	298	13.5%	7.3%
既経過保険料	2,096	2,386	289	13.8%	7.6%
発生保険金	1,501	1,692	190	12.7%	6.5%
自然災害	-	-	-	-	-
手数料・社費	594	671	76	12.9%	6.7%
保険引受利益	0	23	22	2525.3%	2381.7%
資産運用損益	779	1,386	607	78.0%	68.3%
インカム損益	1,146	1,522	376	32.9%	25.6%
キャピタル損益	▲ 241	52	293	-	-
事業別利益	276	724	447	161.8%	147.5%
損害率*2	71.6%	70.9%	▲0.7pt	-	-
事業費率*2	28.4%	28.1%	▲0.2pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	100.0%	99.0%	▲0.9pt	-	-

<保険引受利益 + 資産運用損益 = 事業別利益にならない理由について>

- 左表に記載されない項目として、その他経常損益があるため
- その他経常損益の大宗は年金ビジネスにかかる調達コストであり、これは左表の資産運用損益（インカム損益）と対応しているもの

■ セグメント別正味収入保険料

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
	20年9月末	21年9月末			
適用為替レート (ドル/円)	105.8円	111.9円			
損保	1,201	1,337	136	11.3%	5.3%
生保	1,016	1,179	162	16.0%	9.6%
合計	2,218	2,517	298	13.5%	7.3%

■ セグメント別損害率*1

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減
損保	74.8%	71.1%	▲3.7pt
生保	68.2%	70.7%	2.5pt
合計	71.6%	70.9%	▲0.7pt

*1 分母は既経過保険料

*2 円換算時の為替の影響を控除

海外保険事業⑤：決算概要 (TMHCC)

■ 主要勘定科目の増減

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
	20年9月末 105.8円	21年9月末 111.9円			
適用為替レート (ドル/円)	105.8円	111.9円			
正味収入保険料	3,249	4,245	996	30.7%	23.5%
既経過保険料	2,952	3,706	754	25.5%	18.7%
発生保険金	2,143	2,493	349	16.3%	9.9%
自然災害	17	71	54	320.3%	297.3%
手数料・社費	638	796	157	24.6%	17.8%
保険引受利益	44	297	252	560.6%	524.4%
資産運用損益	166	203	37	22.4%	15.7%
事業別利益	166	397	231	139.3%	126.2%
損害率*1	72.6%	67.3%	▲5.4pt	-	-
事業費率*1	21.6%	21.5%	▲0.2pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	94.3%	88.7%	▲5.5pt	-	-

■ セグメント別正味収入保険料

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
	20年9月末 105.8円	21年9月末 111.9円			
適用為替レート (ドル/円)	105.8円	111.9円			
北米損保	1,221	1,644	422	34.6%	27.3%
傷害・医療	1,139	1,291	152	13.4%	7.2%
米国外	889	1,309	420	47.3%	39.3%
合計	3,249	4,245	996	30.7%	23.5%

■ セグメント別損害率*1

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減
北米損保	82.6%	69.7%	▲12.9pt
傷害・医療	79.0%	78.2%	▲0.8pt
米国外	49.2%	50.6%	1.4pt
合計	72.6%	67.3%	▲5.4pt

*1 分母は既経過保険料

*2 円換算時の為替の影響を控除



参考資料

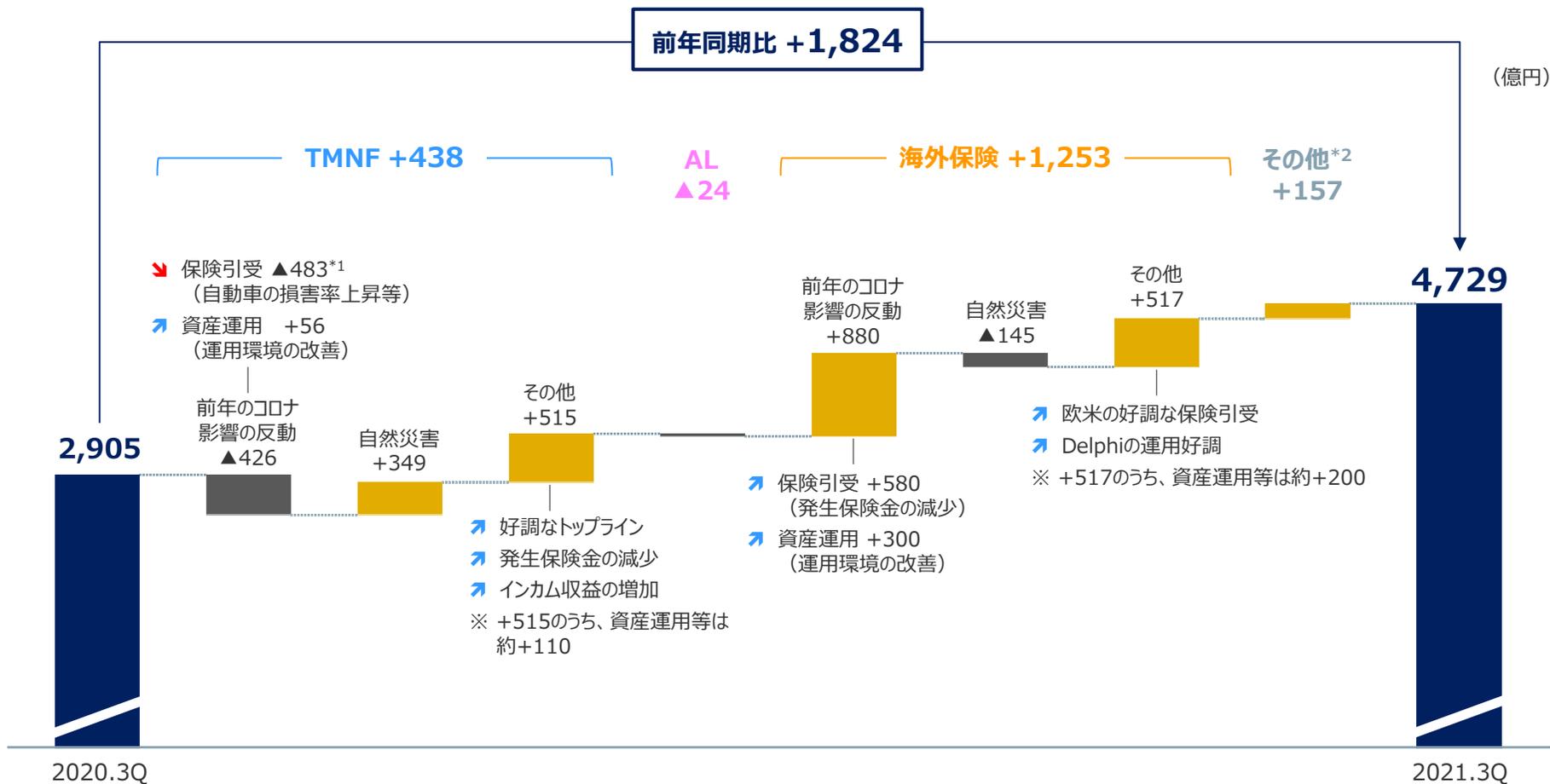
連結決算：修正純利益3Q実績（前年増減）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



修正純利益の3Q実績は、海外でのコロナ影響の反動や国内自然災害の減少に加え、TMNFと海外保険が保険引受・資産運用共に好調であることを主因に、前年同期比+1,824億円の4,729億円となった

※修正純利益の内訳は各事業の事業別利益



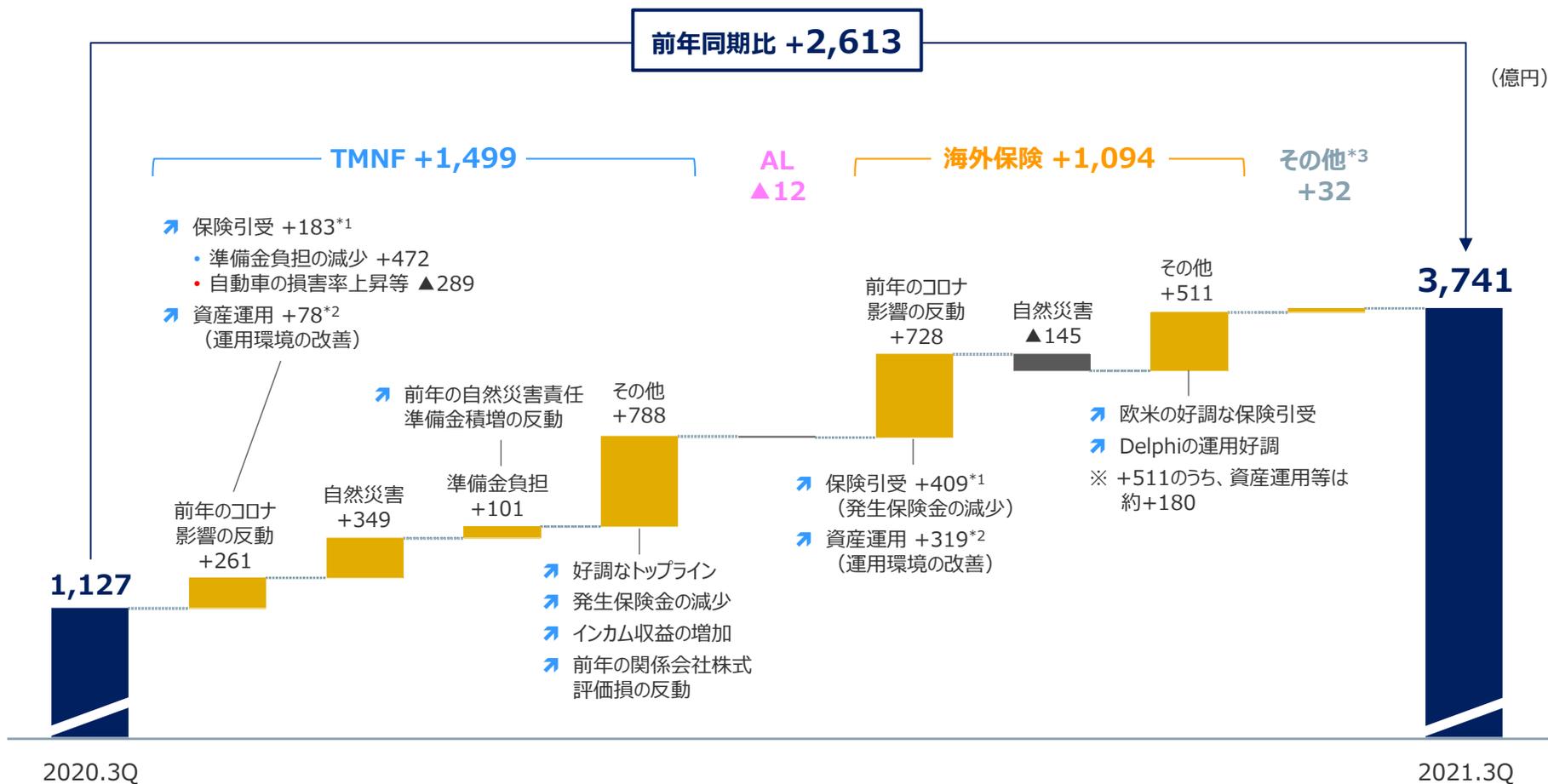
*1：初年度収支残等を控除した新定義（2021年度～）ベース
 *2：TMNF以外の国内損保や金融その他事業、政策株式の売却損益など

連結決算：連結純利益3Q実績（前年増減）

連結決算	国内生保事業
国内損保事業	海外保険事業



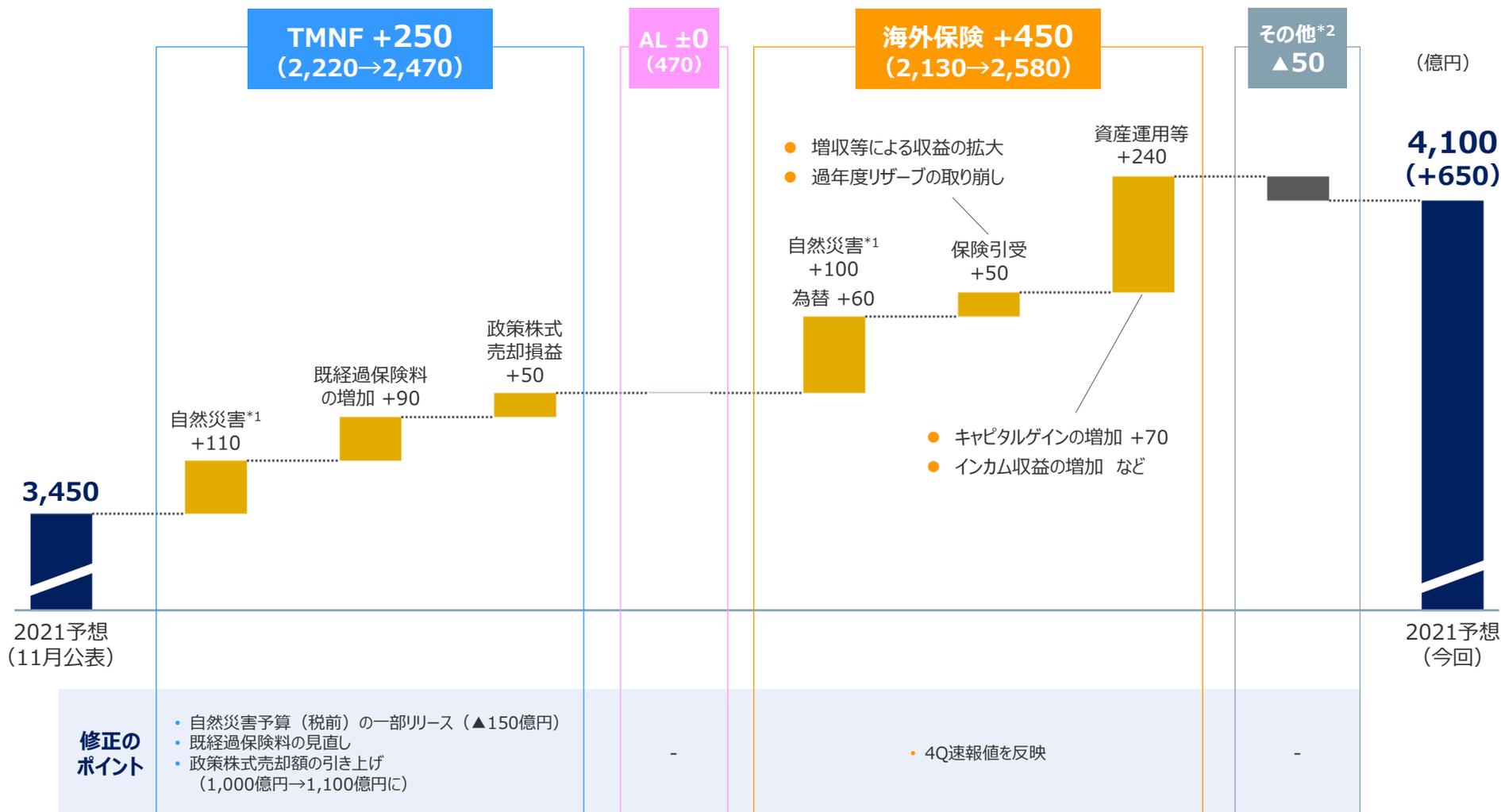
連結純利益の3Q実績は、準備金負担の減少を含めたコロナ影響の反動や自然災害の減少に加え、TMNFと海外保険が保険引受・資産運用共に好調であることを主因に、前年同期比+2,613億円の3,741億円となった



*1：連結純利益では海外責任の損益をTMNFで認識する一方、事業別利益ではこれを海外保険に振り替えるため、両者のコロナ影響の反動に差額が生じる
 *2：TMNFの連結純利益には事業投資に係る評価損が含まれること、海外保険の連結純利益には貸倒引当金の影響が資産運用に含まれる（事業別利益では保険引受に含まれる）こと等により、両者のコロナ影響の反動に差額が生じる
 *3：TMNF以外の国内損保や金融その他事業、連結調整など

連結決算：連結純利益通期予想（11月公表予想対比増減）

3Q実績および足元の好調な基調を踏まえ、連結純利益の通期予想を+650億円上方修正し、4,100億円とする



*1：自然災害予算はP.7参照

*2：TMNF以外の国内損保や金融その他事業、連結調整など

修正純利益（グループ全体）

透明性および比較可能性の向上／株主還元との連鎖

- 市場から見た透明性や比較可能性の向上、株主還元との連鎖の確保を目的として、グループ全体では財務会計をベースとした「**修正純利益**」を使用
- 資本効率（修正ROE）や配当原資の前提となるグループ全体の利益指標
- なお、2021年度より、透明性や比較可能性の向上の観点から計算方法を一部変更している

事業別利益

長期的な企業価値拡大

- 各事業の利益指標は、経済価値等を考慮した企業価値を的確に把握し、長期的に拡大を目指す観点から、「**事業別利益**」を用いて経営管理を行う
- なお、2021年度より、生保事業について、当期純利益をベースとした指標に改定している

<主な違い>

		修正純利益	事業別利益
損害保険	政策株式売却損益	控除しない	控除
	資本性準備金繰入額	控除	控除
その他	のれん・その他無形固定資産償却費	控除	控除

各種指標の定義②



修正純利益・修正純資産・修正ROEの定義

※透明性や比較可能性向上の観点から2021年度より定義を一部変更（黄色網掛け部分）

$$\begin{aligned}
 \text{修正純利益}^{\ast 1} &= \text{連結当期純利益}^{\ast 2} + \text{異常危険準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{危険準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{自然災害責任準備金}^{\ast 4} \text{ 繰入額}^{\ast 3} + \text{初年度収支残の影響額} \\
 &\quad - \text{ALM}^{\ast 5} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} + \text{のれんその他無形固定資産償却額} - \text{事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等} \\
 \text{修正純資産}^{\ast 1} &= \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} + \text{自然災害責任準備金}^{\ast 4} + \text{初年度収支残} \\
 \text{修正ROE} &= \frac{\text{修正純利益}}{\text{修正純資産(平均残高ベース)}} - \text{のれんその他無形固定資産}
 \end{aligned}$$

- ※1 各調整額は税引き後
- ※2 連結財務諸表上の「親会社株主に帰属する当期純利益」
- ※3 戻入の場合はマイナス
- ※4 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料
- ※5 ALM = 資産・負債総合管理。ALMの負債時価変動見合いとして除外
- ※6 海外生保は「その他の事業」の基準により算出

事業別利益の定義

● 損害保険事業

$$\text{事業別利益}^{\ast 1} = \text{当期純利益} + \text{異常危険準備金等繰入額}^{\ast 3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\ast 3} + \text{自然災害責任準備金}^{\ast 4} \text{ 繰入額}^{\ast 3} + \text{初年度収支残の影響額}$$

● 生命保険事業 ※6

$$\text{事業別利益}^{\ast 1} = \text{当期純利益} + \text{危険準備金等繰入額}^{\ast 3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{\ast 3} - \text{ALM}^{\ast 5} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等}$$

● その他の事業

財務会計上の当期純利益

$$- \text{ALM}^{\ast 5} \text{ 債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益評価性引当等}$$

実質純資産の定義

$$\text{実質純資産}^{\ast 1} = \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} - \text{のれんその他無形固定資産} - \text{株主還元予定額} + \text{生保保有契約価値} + \text{その他}$$

修正純利益の組替表



(単位：億円)

● 組替表*1

(注) 符号は利益方向にプラス表示

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	2020年度 実績	2021年度通期予想		
					11月公表 (①)	今回 (②)	②-①
親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)	1,127	3,741	2,613	1,618	3,450	4,100	650
異常危険準備金繰入額*2	+ 365	+ 433	67	+ 532	+ 520	+ 520	-
危険準備金繰入額*2	+ 11	+ 6	▲ 5	+ 14	+ 0	+ 0	-
価格変動準備金繰入額*2	+ 53	+ 55	2	+ 71	+ 70	+ 70	-
自然災害責任準備金*3繰入額*2	+ 64	▲ 15	▲ 80	+ 59	▲ 10	▲ 10	-
初年度収支残の影響額	+ 403	▲ 206	▲ 610	+ 575	▲ 120	▲ 120	-
ALM*4債券・金利スワップ取引に 関する売却・評価損益	+ 26	+ 6	▲ 20	+ 36	+ 10	+ 10	-
事業投資に係る株式・固定資産に 関する売却損益・評価損	+ 86	▲ 4	▲ 91	+ 82	▲ 0	▲ 0	-
のれん・その他無形固定資産償却額	+ 668	+ 710	41	+ 881	+ 960	+ 960	-
その他特別損益・評価性引当等	+ 97	+ 4	▲ 93	+ 124	+ 0	+ 50	50
修正純利益	2,905	4,729	1,824	3,996	4,900	5,600	700

*1 各調整は税引き後

*2 戻入の場合はマイナス

*3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

*4 ALM = 資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外

修正純資産・修正ROE（2020年度実績、2021年度通期予想）



（単位：億円）

● 修正純資産*1

	2020年度 実績	2021年度通期予想		
		11月公表 (①)	今回 (②)	②-①
連結純資産	36,640	39,870	40,740	870
異常危険準備金	+7,447	+7,960	+7,960	-
危険準備金	+431	+430	+430	-
価格変動準備金	+922	+990	+990	-
自然災害責任準備金	+225	+200	+200	-
初年度収支残	+848	+720	+720	-
のれん・ その他無形固定資産	▲8,517	▲8,060	▲8,330	▲270
修正純資産	37,998	42,150	42,740	590

*1 各調整は税引後

*2 平残ベース

● 修正ROE

	2020年度 実績	2021年度通期予想		
		11月公表 (①)	今回 (②)	②-①
連結純利益	1,618	3,450	4,100	650
連結純資産*2	35,180	38,250	38,690	440
財務会計ROE	4.6%	9.0%	10.6%	1.6pt

	2020年度 実績	2021年度通期予想		
		11月公表 (①)	今回 (②)	②-①
修正純利益	3,996	4,900	5,600	700
修正純資産*2	35,423	40,070	40,370	300
修正ROE	11.3%	12.2%	13.9%	1.7pt

事業別利益の組替表



● 国内損保事業*1 (うちTMNF)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	2021年度 予想 (11月公表)
当期純利益 (財務会計)	965	2,464	1,499	2,220
異常危険準備金繰入額等*2	+350	+438	88	+543
価格変動準備金繰入額*2	+32	+33	0	+44
自然災害責任準備金*3繰入額*2	+64	▲14	▲79	▲16
初年度収支残の影響額	+383	▲200	▲584	▲115
ALM*4債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益	+21	▲1	▲23	+6
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	▲474	▲528	▲53	▲591
グループ内配当金	▲375	▲443	▲68	▲547
その他特別損益 評価性引当等	+467	+127	▲340	+212
事業別利益	1,435	1,874	438	1,760

*1 各調整は税引き後

*2 戻入の場合はマイナス

*3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

*4 ALMとは資産・負債総合管理のこと、ALM負債時価変動見合いとして除外

*5 特別損益、本社費ほか

● 国内生保事業*1

(単位：億円)

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	2021年度 予想 (11月公表)
当期純利益 (財務会計)	319	306	▲12	470
危険準備金等繰入額*2	+6	+3	▲3	+1
価格変動準備金繰入額*2	+19	+6	▲12	+9
ALM*4債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益	+4	+8	3	+5
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	+0	+1	0	+0
その他特別損益 評価性引当等	-	-	-	-
事業別利益	350	325	▲24	480

● 海外保険事業*1

	2020年度 第3四半期 実績	2021年度 第3四半期 実績	前年 増減	2021年度 予想 (11月公表)
当期純利益 (財務会計)	795	1,890	1,094	2,130
少数株主持分の調整		▲14		
対象会社の差異		▲68		
その他調整*5		+59		
事業別利益	613	1,866	1,253	2,020

< ご注意 >

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載されています。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。

従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

お問い合わせ先

東京海上ホールディングス株式会社

経営企画部 IRグループ

URL: www.tokiomarinehd.com/inquiry/ir.html

Tel: 03-3285-0350

To Be a *Good Company*



東京海上ホールディングス

TOKIO MARINE

